



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

# 学校便り Respect



令和3年7月2日

No. 4

令和3年度 7月朝礼あいさつ

校長 川口 浩

おはようございます。

いよいよ7月となりました。さて、みなさん、この2つの人形は、なんだかわかりますか？あるイベントのマスコットです。そうですね、これは、7月23日から東京で始まるオリンピック・パラリンピックのマスコットです。こちらの青い方がオリンピックのマスコット「ミライトワ」、こちらのピンクがパラリンピックのマスコット「ソメイティ」です。本当は、去年開かれる予定でしたが新型コロナウイルスの影響で、1年延期になって、実施されることになりました。世界中から、大会に出場する選手が日本に集まり始めています。



オリンピック・パラリンピックは、世界最高のスポーツ大会ですが、別名『平和の祭典』ともよばれます。なぜそのように呼ばれるかという、今から2500年以上前、現在のギリシャという国のオリンピアという町で、4年に1度スポーツ大会が開かれていました。当時のギリシャは、1つの国ではなく、アテネやスパルタなどの小さな国にわかれていつも戦っていました。しかしこの、オリンピアの競技会期間中は、その戦いをやめました。つまり、期間限定ですが、平和が訪れたのです。この古代オリンピックは、やがて中止となります。現代のオリンピックは、その精神を復活させようとして、約130年前に始まりました。今回の東京オリンピックは、第32回目となります。よく、オリンピックでは「参加することに意義がある」と言われます。世界中から、様々な人々が集まり、人種や宗教等の違いを超えて、地球が1つにまとまって大会を作り上げていくことに意味があるという考え方です。

私は、かつて生活したある国で、こういう質問を受けたことがあります。

「どうして日本人は、自分たちだけで行動するのですか？」

私は、返事に困りました。理由は、いろいろあると思います。言葉も出来ないし、考え方も違うし、生活習慣も違うし……………。

逆に、私はその人に聞き返しました。

「あなたの国の人は、どのような人と付き合うのですか？」

その人の答えはこうでした。

「我々は、できるだけ自分とは違った考えを持っている人と話すようにしています。なぜなら、同じ考えの人とだけ話していても、自分の考えは広がらないし、そんな人生は、つまらないですね。」

この経験は、私に次のことを気づかせてくれました。

「自分はとても損をしてきたのではないだろうか？一歩、外の世界に踏み出し、違いを受け入れる勇気を持てば、新しい世界を見ることができ、そのことを通して、もっと豊かな人生を送れるのではないか？」

私がいつも皆さんにお話している、自分もまわりもよくできる人になるためには、自分の考えを主張するだけではだめです。相手の考えも理解し、それを自分の考えと照らし合わせながら、お互いにとってより良い方向を探していかなければなりません。あと、3週間でオリンピックが始まります。順位だけでなく、何のために開かれているのかも考えながら見てください。そうすればきっと、今までと違った世界が見えてくるでしょう。

◎保護者の皆様へ

ロックダウンの第1段階が解除されず、オンライン授業が継続となっております。登校再開の検討は、第3段階以降という発表ですが、詳細は、教育省からの連絡を待たなければなりません。1日も早く登校が再開できることを強く願います。行事に関しましても、登校再開の見通しと合わせて、再度検討し、ご連絡いたします。

ご心配をおかけしておりました、本年度の派遣教員の動向ですが、6月23日に隔離が明け、無事にジョホールに到着することができました。現在は、オンラインで教育活動を行っております。登校が再開した時点で、児童生徒に再度、対面で紹介いたします。